

## 第16回三笠市石炭資源活用研究会

# 三笠市未利用エネルギー 活用フォーラムの開催

ハイブリッド  
石炭地下ガス化  
×  
脱炭素への挑戦  
Vol.17

【申込・問合せ先】産業開発課産業振興係Tel③7081



三笠市では、豊富な未利用資源の活用を目指し、石炭地下ガス化と、木質バイオマスを利用した低炭素水素の製造による産業の活性化に向けた取り組みを、協力企業や室蘭工業大学などと産学官で連携して進めています。今年度は、旧奔別炭鉱に完成したプラントで石炭と木質バイオマスを混合させて生産したガスと、砂子炭鉱で石炭を地下で燃焼させて生産したガスから水素製造実証を行った結果、99.99%以上の水素製造とCO<sub>2</sub>の回収に成功しました。

今回のフォーラムでは、水素製造実証の結果と、NEDOに新たに採択されたCO<sub>2</sub>固定化事業の概要などについて講演していただきます。

【日時】3月10日(火)13:30～15:20

【場所】市民会館

【参加料】無料

【定員】150人

【内容】

講演①「水素製造実証の結果」

▶NPO法人地下資源イノベーションネットワーク  
理事長 出口 剛太氏

▶エア・ウォーター株式会社 グリーンイノベーション開発センター 西川 智大氏

講演②「CO<sub>2</sub>固定化事業の概要」

▶応用地質株式会社 執行役員 エネルギー事業部長  
遠藤 司氏

講演③「ハイブリッド石炭地下ガス化事業の展望  
と国内外展開の可能性」

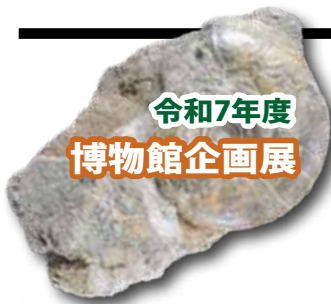
▶室蘭工業大学大学院工学研究科 特任教授  
板倉 賢一氏

【申込方法】電話またはGoogleフォーム  
から申し込みください。

【申込期限】3月5日(木)



Googleフォーム



令和7年度  
博物館企画展

# 北海道の アンモナイト

## マーストリヒチアン編

【問合せ先】市立博物館Tel⑥7545

今回の企画展は、白亜紀を細かく分けた時代のひとつ「マーストリヒチアン期」という時代がテーマです。化石の宝庫と言える北海道でも、この時代の地層から化石が見つかるアンモナイトは種類・個数ともに希少です。また、ボランティアの会 会員それぞれの「お気に入り化石」も展示されます。

化石コレクターが道内各地から集めた貴重な化石コレクションを、ぜひこの機会にご覧ください。

【期間】3月1日(日)～5月10日(日)

【場所】市立博物館

【展示数】約200点

【料金】入館料のみでご覧になれます

【主催】三笠市立博物館ボランティアの会・三笠市立博物館





【問合せ先】三笠ジオパーク推進協議会事務局（商工観光課内）TEL②3997

## 日本ジオパークに再認定！

日本ジオパークでは4年に1度、地質遺産の保全および活用の仕組みと取り組み、前回審査時からのジオパーク活動の進展などについて審査が行われます。

今回で3回目の再認定審査となり、日本ジオパーク委員会の調査員2人による審査が10月26日から2日間の日程で行われました。前回審査時に指摘された問題点の改善状況、三笠ジオパークの保護保全・教育・ジオツーリズム活動など、4年間での取り組みについて聞き取りや現地調査などの審査が行われました。

審査結果は、1月30日に開催された日本ジオパーク委員会で審議され、三笠ジオパークは「再認定」となりました。日本ジオパーク委員会からのコメントは以下のとおりです。



教育旅行を含むジオツーリズムの推進や石炭廃坑の活用、高校生レストランやワイナリーとの商品開発など、多様で活発な取り組みが進んでいる。国の補助金の活用やふるさと納税などによる財源も確保されてきた。今後は、ジオパーク独自の基本計画策定や外部団体との役割分担を明確にし、運営体制を整えることで一層の発展が期待される。

以上のことから、日本ジオパークとして再認定する。

再認定の結果を踏まえ、持続可能な地域社会の構築につなげる取り組みを進めるとともに、三笠ジオパーク全体としてのさらなるブランドの向上に努めます。今後とも市民の皆さんのご協力をお願いします。

※写真はそれぞれ日本ジオパーク委員会による審査の様子

